

2016年1月度 高島屋営業報告

総 計

(前年比 単位:%)

(株)高島屋	+0.0
(株)高島屋および国内百貨店子会社	+0.1

百貨店は、インバウンド需要の好調を主因にラグジュアリーブランドや化粧品等が好調に推移したことに加え、食料品等が堅調に売上を伸ばし、前月に続き前年比プラスとなりました。

法人事業は、前年に受注した大口案件の反動影響が大きく、2015年3月度以来の前年比マイナスとなりました。

クロスメディア事業は、暖冬影響による季節商品の苦戦もあり、前年実績に届きませんでした。

(前年比 単位:%)

百貨店	(株)高島屋 13店舗	+0.7
	(株)高島屋および国内百貨店子会社 17店舗	+0.7
法人事業		△11.8
クロスメディア事業		△3.7

高島屋単体13店舗は、大阪店・堺店・京都店・洛西店・泉北店・日本橋店・横浜店・港南台店・新宿店・玉川店・立川店・大宮店・柏店です。国内百貨店子会社は、岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋・高崎高島屋です。百貨店には、2015年9月に㈱グッドリブから移管した卸売事業の売上高が加算されています。

百貨店 店舗別概況

関西地区	大阪店		京都店		泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋	関西地区		(前年比 単位:%)	
	単独		単独						単体5店	8店計	単体13店	17店計
売上高	+6.4	+5.3	+1.4	+1.3	△5.2	+1.2	+0.6	△1.7	+3.0	+2.6	+0.7	+0.7
入店客数	+3.9	+2.8	+2.8	+2.6	+0.4	△16.6	△2.6	+0.3	+2.5	△0.8	+0.2	△1.0

大阪店の売上高・入店客数は堺店を、京都店の売上高・入店客数は洛西店を含みます。岡山店の売上高・入店客数は「タカシマヤフードメゾン 岡山店」を含みます。

関東地区	日本橋店	横浜店		新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋	関東地区	
		単独								単体8店	9店計
売上高	△1.8	△1.8	△1.8	△0.2	+3.6	△5.6	△5.1	+1.4	+0.7	△0.9	△0.8
入店客数	△2.3	△0.2	+0.7	△3.9	+2.7	△12.5	△5.4	△0.7	△4.4	△1.1	△1.2

横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤフードメゾン 新横浜店」「タカシマヤスタイルメゾン 海老名店」を含みます。柏店の売上高・入店客数は「タカシマヤフードメゾン おおたかの森店」を含みます。

【商品別概況】

(前年比 単位:%)

	(株)高島屋	(株)高島屋および国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および国内百貨店子会社		(株)高島屋	(株)高島屋および国内百貨店子会社
	衣料品	△7.9		△8.0	食料品		+1.7	+1.9
紳士服・洋品	△19.3	△18.6	生鮮食品	△0.3	△0.6	その他	+79.9	+65.9
婦人服・洋品	△4.3	△4.6	菓子	+9.9	+9.5	合 計	+0.0	+0.1
子供服・洋品	△3.6	△4.0	惣 菜	+1.4	+1.1			
その他衣料品	△4.5	△4.9	その他	△5.6	△3.7			
身のまわり品	+5.3	+5.1	食堂・喫茶	+0.8	+0.6			
家庭用品	+5.5	+5.6	雑貨	+10.4	+11.0			
家具	△5.2	△4.0	化粧品	+22.7	+22.0			
家電	△18.0	△17.2	美術・宝飾品・貴金属	△6.4	△4.9			
その他家庭用品	+9.3	+9.1	その他	+14.6	+15.2			